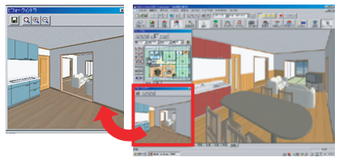
Walk in home プラス 2003 Version Up 新機能

安心計画 Housing Visual Database

1. ビフォーウインドウ

変更前と変更後のプランを同一画面に並べて表示、しかも同時に視点を変えながらプラン変更が可能。リフォームにもピッタリの画期的機能です。



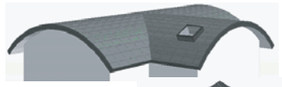
2.ロフト・地下表現

ロフト表現や地下表現が、メニューを選択し、入力することにより行えます。

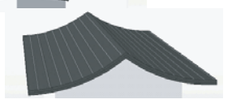
3.高層階表現

地上5階までだった階層制限がなくなり、高層マンション等の表現が可能になりました。

4.R屋根表現

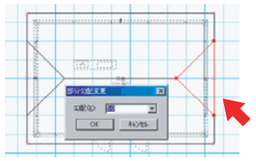


R屋根表現がメニュー選択で簡単に行うことができるようになりました。



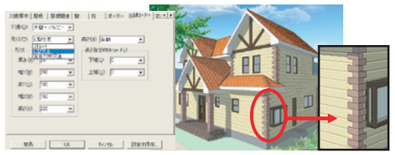
5.屋根の部分異勾配処理

等勾配で掛けた屋根の一部の勾配を部分的に変更することができます。



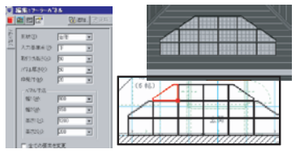
6.外壁出隅コーナー

外壁では、コーナー飾り表現が可能に。ストレート、L型対象交互、左右対称交互の3種類を選択できます。



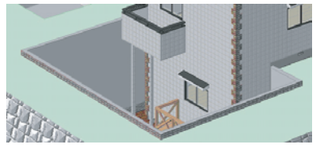
7.ソーラーパネル

長方形と台形の組み合わせでソーラーパネルの入力を行うことができます。積算にも反映します。



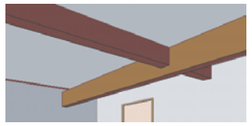
8.ドライエリア

地下室の入力が可能になったのと同時にドライエリアの表現が可能になりました。



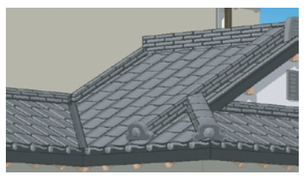
9.室内梁（見せ梁）

新たに室内梁が要素として追加されました。パース上で巾や高さ・形状が簡単に変更でき、積算にも反映します。



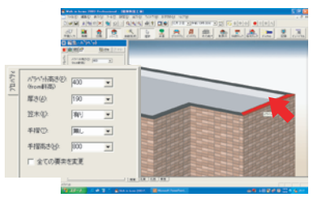
10.棟押え厚み付き表現

棟押えが厚み付きで表現されるようになり、和風表現では、のし瓦の表現も行われます。



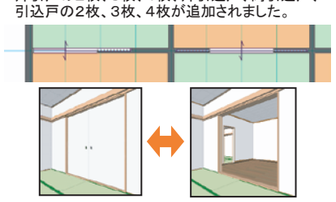
11.パラペット

パラペットの表現が可能になりました。



12.2～4枚の片引・片引込戸の追加

片引戸の2枚、3枚、4枚、片引込戸、両引込戸、引込戸の2枚、3枚、4枚が追加されました。

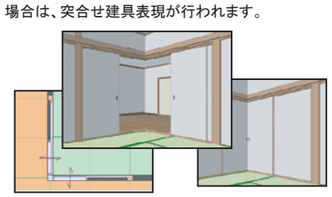


13.部分床・部分天井

部屋領域の上に部分床・部分天井を入力することができ、段差をつけることができます。
＋とーでの高さの設定が可能です。

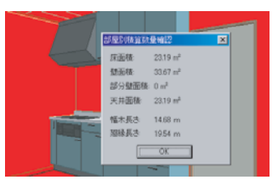
14.室内オープン突合せ建具表現

同一種類の建具がL型に存在し、中間に柱がない場合は、突合せ建具表現が行われます。



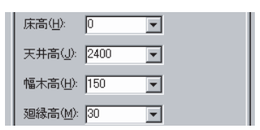
15.部屋数量個別確認ボタン

部屋ごとに、床・壁・天井面積・幅木長さ・廻り縁長さが確認できるようになりました。



16.幅木・廻縁高さ設定機能

幅木・廻り縁の高さが設定できるようになりました。



17.斜め鳥瞰パース

今まで真上からしか見れなかった鳥瞰パースが自由に視点位置を変えられるほか、切断高さも指定できるようになりました。

18.マスタデータの階層対応

階層アイコンの ON/OFF で、〔階層モード〕、〔お気に入りモード〕の切替ができ、グループ登録やマスターデータが管理しやすくなりました。

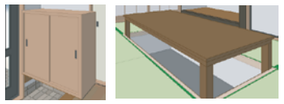
〔階層モード〕　〔お気に入りモード〕

19. グループ化後の任意角度回転機能

「中心点＋X 方向指示」と「中心点＋回転度指定」の2種類の方法で回転が可能になりました。

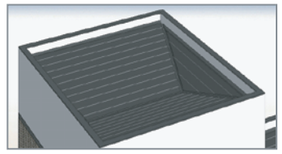
20.下駄箱表現と掘コタツ表現

標準の下駄箱表現 が 強化されました。
また、掘コタツの表現が可能になりました。



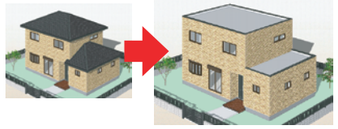
21.マイナス勾配屋根自動生成

マイナス勾配での自動生成が可能となりました。
積雪の多い地域の無落雪屋根の表現等に便利です。



22.フラット屋根自動生成

勾配と軒の出を0にして屋根を自動生成すると、パラペット付のフラット屋根が自動で表現されるようになりました。

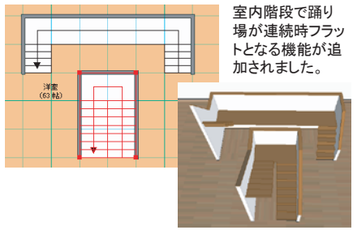


23.外壁ふかし量による面積補正

外壁ふかし量の設定により、寸法線、面積表示の補正ができるようになりました。
この設定を変更することにより、木造住宅から軽量鉄骨住宅へ等、工法の変更も行えます。

24.階段踊り場の連続フラット入力

室内階段で踊り場が連続時フラットとなる機能が追加されました。

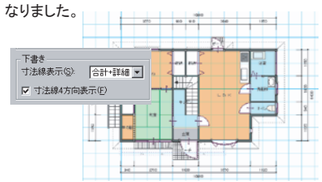


25.アーチ下がり壁のモール建具の上下モール

下がり壁がアーチの場合、モールの指定が可能となりました。
また、建具に上下モールのパターンが追加されました。

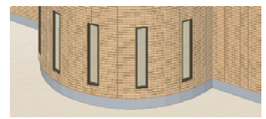
26.寸法線の4方向表示

自動生成時の寸法線表示が4方向可能になりました。



27.R壁の輪郭線非表示と素材の連続貼付け

R壁作成時の円弧分割位置の線が非表示となり、また各面の素材が連続的に貼れるようになったため、曲面の表現がより滑らかになりました。



28.敷地矩形入力と方位の簡易入力

従来の入力方法のほかに簡単2点入力方式が追加されました。また敷地入力で矩形入力方式のサポートが追加されました。

29.平面表示色設定の追加

厚み線分と厚み領域に関しては、個々の要素毎に平面表示色を設定できます。

30.積算数量算出項目の追加

100以上の積算項目が追加されました。

31.オートリカバリー機能

作業中にアプリケーションエラーなどで落ちてしまった場合、ほぼ直前のデータまで自動復元してくれます。

32.立面図バックライト機能

立面図表示上で影オフの場合でかつ、バックライトをつけた場合、方向に依存せず常に明るい状態で表示されるようになりました。プレゼンボードも同様です。

33.プレカットシステムと連動

宮川工機MP － CAD用中間インターフェース作成することができるようになりました。

34.建具一斉開閉機能

CtrlキーとShiftキーを同時に押えて、任意の位置をクリックすると全建具が一斉に開閉します。

35.プレゼンボード関連

1）ビフォープランの画像データ自動作成
2）塗りつぶし方法強化
・ハッチング（6種類 ⇒49種類）
・グラデーション
・透過率の設定（注）
（注）プリンター性能によっては、正しく印刷できない場合があります。
3）ページコピー機能

36.設計図書関連

（アーキテクト、プロフェッショナル対応）

設計図書出力ダイアログに「立面図寸法線」のオプションが追加されました。
オプションにチェックを入れて立面図を出力した場合、寸法線が出力されます。

37.CG 関連（オプションウォークインホーム CG）

初期表示画面がDirectX表示方式に変更され、初期表示画面での素材変更が大幅に早くなりました。
レイトレーシング時に、「ラジオシティ計算結果のみでレンダリング」を選択することで、ラジオシティ計算結果を画像保存することができるようになりました。